

授業科目	カウンセリング論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21412J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>近年、高度情報技術の飛躍的発展がもたらした社会構造の急激な変化の中で、カウンセリングへの期待が大きくなってきている。カウンセリングでは、セラピストとの関係性に支えられたプロセスの所産としてクライアントの自己理解と問題解決にかかわり、その過程を援助することができる。</p> <p>本講義では学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員として、担当者が現場で身につけてきた知識や技術を用いて、カウンセリングの構造とそのプロセスについて解説する。具体的には以下の三点について解説する：</p> <p>①カウンセリングの基本構造  ②カウンセリングの基本的な流れと各段階におけるクライアントとカウンセラーの課題  ③カウンセリングの各段階に適した技法と留意点</p> <p>2021年度前期は、対面授業で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	1. カウンセリングの基本構造について説明できる。(DP1-2、5-2) 2. カウンセリングの段階とプロセスについて説明できる。(DP1-2、5-2) 3. クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について説明できる。(DP2-1、5-2) 4. カウンセリングの特徴とその有用性について検討することができる。(DP3-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	72	0	28	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	24						24	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	24						24	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			28				28	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	24						24	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>カウンセリングの基本的知識をよく理解し、カウンセラーとクライアントの特別な関係について他者に説明することができる。</p> <p>カウンセラーの立場、クライアントの立場を理解し、それぞれがカウンセリングで直面する課題について他者に説明することができる。</p> <p>日常場面において、カウンセリングの技術を応用することができる。</p>				1. カウンセリングの基本構造について説明できる。 2. カウンセリングの段階とプロセスについて説明できる。 3. クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について説明できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: オリエンテーション・カウンセリングとは カウンセリングとは何か、カウンセリングの体系と学び方について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
2	テーマ: カウンセリングの基本技法 カウンセリングに必ず必要とされるリレーション、カウンセリングの最も基礎的な3つの技法について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
3	テーマ: よい「傾聴」の基本姿勢 傾聴の重要性と、傾聴における3つの基本姿勢について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
4	テーマ: カウンセリングの基本的な流れ カウンセリングの基本的な3つの段階と各段階の特徴について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
5	テーマ: カウンセリング・プロセスの種類 クライアントの抱えているニーズの違いに応じたカウンセリングとそのプロセス、技法について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
6	テーマ: カウンセリングの枠 カウンセリングの5つの枠(時間の枠、空間の枠、料金の湧く、カウンセラーの心の枠)について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
7	テーマ: カウンセリングの受付とインテーク面接 受付とインテーク面接の方法と留意点について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
8	テーマ: カウンセリング初期の面接の技法 カウンセリングの初期段階の課題「関係づくり」の方法と留意点について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
9	テーマ: 面接記録の作成とスーパーヴィジョン 面接記録の作成とスーパーヴィジョンの意義と効果について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
10	テーマ: カウンセリング中期の面接の技法1 カウンセリング初期から中期への移行と技法について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
11	テーマ: カウンセリング中期の面接の技法2 カウンセリング中期の「自己の内面探索」課題のための技法について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
12	テーマ: 事例検討会 ケース・カンファレンスの方法と意義について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
13	テーマ: カウンセリング後期の面接技法 カウンセリング後期の「具体的な行動計画」に取り組む方法と留意点について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
14	テーマ: カウンセリングの終結・まとめ カウンセリングの終結の方法と留意点について解説する。これまでの授業内容を振り返り、まとめる。	講義 小レポート まとめ	復習: 該当部分の復習	30
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『臨床心理学概論』を受講していることが望ましい。			
テキスト	『新しいカウンセリングの技法ーカウンセリングのプロセスと具体的な進め方』諸富祥彦著 誠信書房(2014)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『カウンセリングプロセスハンドブック』 福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房 (2004) その他、適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義中に提示された参考図書、カウンセリングに関する文献を読むことが望ましい。 『カウンセリング演習』(4年後期)を履修したい者は、『カウンセリング論』の単位を習得しておくこと。			
達成度評価に関するコメント	試験及び小レポートの内容については、講義の中で指示をする。 カウンセリングの知識を有し、それを他者に説明することは「対人援助職としての基本的な専門的スキル」である。したがって、DP5-2 はカウンセリングの知識と切り離して評価することはできない。したがって、DP1-2、2-1、5-2 は試験にて評価する。DP3-2 は小レポートにて評価する。			

